

summer
1

スノードロップだより

VOL.20



スノードロップは春を告げる花。

雪にちなんだ可愛い名前で、和名は「待雪草」「雪のしずく」とも呼ばれています。(kurashi-no.jp から引用)

夏の花壇ができました

ママのようにできるかな▶

▼しっかり根付きますように



▲かわいい作品が完成しました



◀すきまには下葉を挿して埋めています

ちょっと流行りの多肉植物の
寄せ植えやってみたよ

SNOWDROPSADAYAMA

Instagramにも載せています。
フォロワーも増えてきました。
見てくださいね。

@snowdropsadayama



小学生記者がやって来た！

5月22日、五常小学校2年生約80人が公園を訪れました。

身近な公園のことを知ろうという課題で、担当の記者さんからいろいろな質問が飛び出しました。

質問：一番人気の遊具は？

回答：ブランコです、幼児からおばあちゃんまで中学生も楽しんでいます。

質問：どんな遊びができますか？

回答：山でかくれんぼや探検ができます、夏はセミ捕りの子どもたちがいっぱい来ます。



質問：公園の名前の由来を教えてください。

回答：近くに蹉ダ神社などがあり、その辺りを「蹉ダ」と呼んでいたことからと思います。

菅原道真が太宰府に流される時、休憩してあの有名な「東風（こち）吹かば匂（にほ）ひおこせよ梅の花主（あるじ）なしとて春な忘れそ」という和歌を詠んだという地が「菅相塚」。

道真の娘が後を追いかけて来たけれど旅立った後、足ずりをして悲しんだ…そういう様子を蹉ダというのです。（蹉ダのダは、足へんにウカタカナのヒ）

2年生と思えない難しい質問も出て驚かされましたが、熱心にメモを取っていました。

公園にお菓子の袋や飲み物のゴミなど捨てないこと、これから増える水風船のゴムは、遊んだ後集めてカゴに捨てること、みんなが気持ちよく遊べる公園にしましょうね！と締めくくって、無事取材が終わりました。

五常小学校2年生のみなさん、取材訪問ありがとうございました。



2024 わんこ スマイル

さだやま公園に
お散歩わんこ
笑顔で
ナイスショット



▲むたちちゃん



▲あぼろくん



▲和（なごみ）ちゃん



▲はなちゃん



▲ソフィーちゃん

香里ヶ丘の 野の花だより

第7回

春の野の花、まだまだありました。

どの花も小さいながら色や形ユニークで、どうしたらその花らしい姿が撮れるかと考えながら、カメラを向けました。

参考「春の野草」・山と溪谷社「山野草図鑑」朝日新聞出版

summer
3



▲スズメノヤリ

まっすぐな花茎の先に多数の小さな花が集まった丸い形を、大名行列の毛植に見立てたところからの名前だそうです。
ちなみにスズメは小さいの例えです。



▲ムシクサ

緑の茎や葉に、清楚な白い花を咲かせるのにムシクサとは…調べてみるとできた果実に入りがり、虫こぶ状になることが由来とか。まだ虫コブを見たことはありません。



▲オオイヌノフグリ

子どもの頃、あまりに可愛いらしいブルーの花を「青い鳥さん」と読んでいました。でもせっかく摘んだ花もすぐにボロっと落ちてしまいます。やはり野原に咲いてこそなのですね。



▲カスマグサ

以前、カラスノエンドウとスズメノエンドウを紹介しましたが、このカスマグサとは何と、カラスの「カ」スズメの「ス」の中間で、「カスマ」。もう少ししやれた名前をつけてあげたい気がします。



▲ニガナ

団地の草原や斜面に群生していて、よく目立ちます。茎や歯を切ると苦味のある乳液が出るので、この名が付いています。



▲ナズナ

春の七草の一つで、若菜は食べられます。白い花が下から次々と咲き、小さな三角形の実をつけます。



▲ヒナキキョウソウ

小さな紫色のキキョウに似た花を茎の先に1つ付けます。キキョウソウは、茎の途中に数個の花を咲かせるので、これと区別がつきます。



◀コメツブツメクサ

公孫樹通りの緑色の細かい葉に覆われた地面を見ると、小さな丸い黄色の花がいっぱい咲いていました。ちょうどシロツメクサを小さくした黄色の花なので、コメツブツメクサと名がつけました。



▲ノヂシャ

もともとは野菜として栽培されていたものが野生化したようで、淡いブルーの小花はなかなかきれいです。

■編集後記

スノードロップさだやまは、花壇の活動を開始して、まる10年になりました。
「今度こんなこともやってみたいね！」と、ワイワイ楽しみながら活動をしています。
今年度も助成金いただきまして、ありがとうございました。